

お客様
紹介

株式会社クワハラ 様

(ISO14001:2004、ISO39001:2012 認証登録)

〔取材者〕 審査員 美濃 英雄 Hideo Mino



上) LEXUS LS600hL 下左) ELGRAND VIP 下右) リムジンハイヤー

株式会社クワハラ様(横浜市)は昭和46年創業、「独創的経営」を社是とされ、建設機械リース業・一般貨物運送事業・一般土木施工管理、不動産開発から一般乗用旅客事業へ参入されています。

ISO14001に続き、ISO39001も認証取得され、審査では高い安全性が顧客満足に結び付いていることが確認されました。修理中の車両から整備上のリスクが発見された場合、毎月の研修会で報告し、インシデントの未然防止に展開されています。高級リムジンとハイヤー車両は、LEXUS LS600hL EXECUTIVE package ロングボディ、エルグランド・アルファード・ベルファイアのハイグレード仕様から、ジャンボハイヤー(9名乗車)、ペットタクシー(大型犬

可能)など、取り揃えられています。サミットや国際会議用にも指定され、長距離利用の固定客や、観光用にも利用されています。乗務員は前職が八百屋、製造業、役員秘書など様々で、英語は当然、その他の言語も勉強されています。

また、お客様には、目の前のタクシーに乗らず、300m先に停まっていた同社タクシーに乗りに来られたり、利用されるたびに乗車レポートを送ってこられる常連の方もおられるとのことです。私も一度 LEXUS LS600hLに乗ってみたいものです。

<http://www.kuwahara-jun.com/>

連載よみもの

審査員の心

第22回 (環境編)

「組織の状況」

環境主任審査員 大村 敏夫 Toshio Omura

一昨年の9月にISO14001:2015が発行され、2015年版規格での新規登録審査や移行審査も入り始めています。今回の改訂では、規格要求事項の表現は変わっている箇所もありますが、規格が意図すること、すなわち、全ての組織が環境に配慮した適切な活動により環境保護に貢献し、人類の持続的発展が可能な社会を実現する、という方向には変更は無いと捉えています。

2015年版の規格は、環境への取組みの方向を決定するまでの筋道を明確にすることから始まります。まず、「4 組織の状況」は、2015年版で新たに追加された項目で、組織の位置づけを明確にします。ISO14001では、以前から初期環境レポートで状況を把握することが推奨されてきましたが、初期環境レポートのようなもので現状をレビューすることも一つの手段でしょう。組織の地域、業界および社会の中での位置づけ、存在意義、利害関係者からどのようなことが望まれているかを把握して、内部及び外部の課題を明確にすることが要求されています。2015年版では、「環境状態」という考え方が導入され、組織と環境が

相互に影響を与えている状況も考慮します。組織は環境に負荷を与える存在であるとともに、組織も環境から影響を受ける、例えば気候変動の結果としてエネルギー使用量が増えるなどの影響を受けるかもしれません。環境の利害関係者は不特定多数になり、地域住民、顧客、行政などが例として挙げられます。地域住民は生活環境が悪くならないことを望むでしょう。利害関係者には、現在の人だけでなく、後世の人も利害関係者と捉えると、資源を将来の世代に残すことも利害関係者のニーズになります。

また、内部の状況についても考える必要があります。環境管理に関わる力量のある人材や設備の確保が難しいかもしれません。設備の老朽化も進んでいるかもしれません。生産量を上げることで環境負荷も増える傾向にあるかもしれません。

そのような状況から生じる内部・外部の課題は、環境管理システムで何を指すのかの出発点になります。

